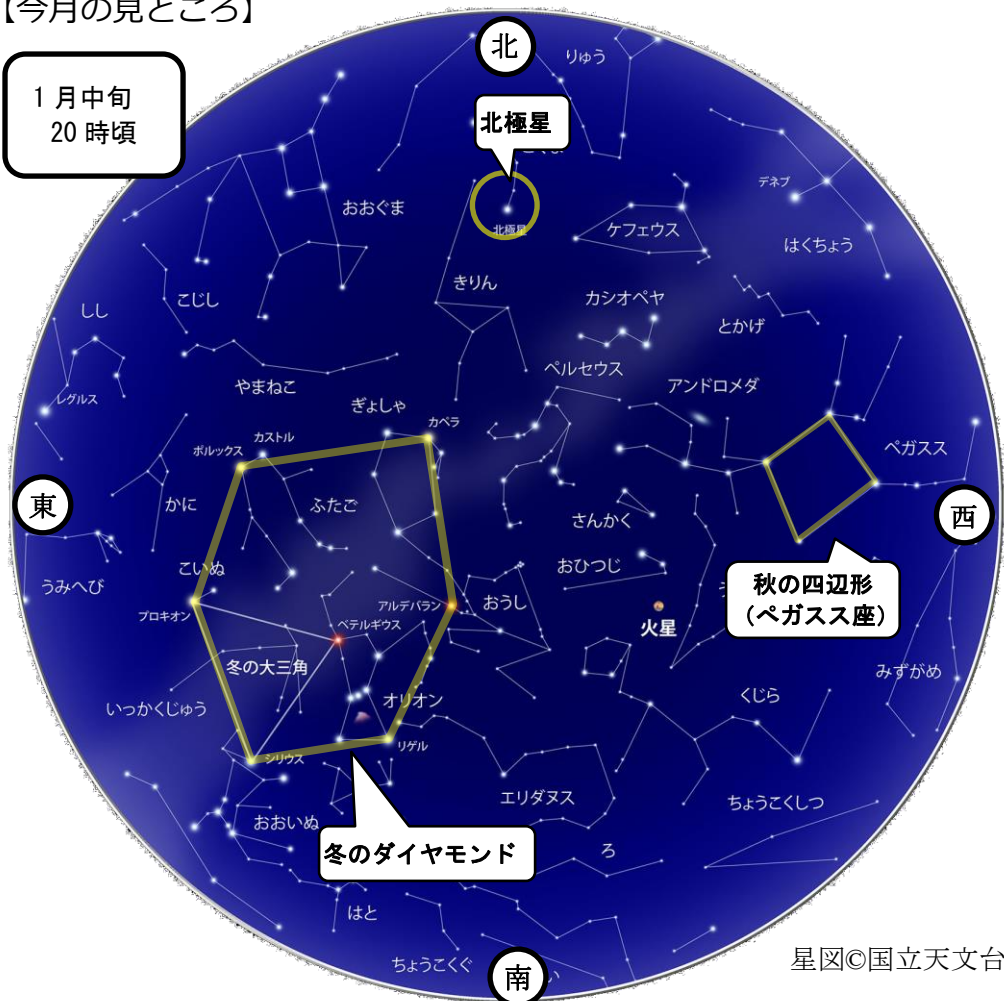


【今月の見どころ】

1月中旬
20時頃



第9回 『星空教室』



『2021年の天文現象』を紹介するぞ！

- ⇒ 2020年の天文現象を振り返ろう！
- ⇒ 2021年の天文現象について知ろう！
- ⇒ 今夜の星空の見どころ

2020年の天文現象（振り返り）

<p>【6月21日】 部分日食 夕空に部分日食の予定が…。市内は雲に包まれ観測できず。</p>	
<p>【7月中旬】 ネオワイズ彗星 市内からも夕空に「ネオワイズ彗星」を見ることができました。</p>	
<p>【8月中旬】 ペルセウス座流星群 条件も良く、市内でたくさんの流れ星を見ることができました。</p>	
<p>【10月1日】 中秋の名月 天気も良く、市内で綺麗な中秋の名月を見ることができました。</p>	
<p>【12月6日】 はやぶさ2地球帰還 再突入カプセルが無事に帰還しました。 (画像提供：JAXA)</p>	

◆2020年も様々な天文現象を楽しむことができました。

2021年幕開け！「冬のダイヤモンド」が早い時間から空に昇る季節になりましたね
♪明るい星を結ぶ「星空さんぽ」に星空の下へレッツ・ゴ～☆彗



次回の星空教室は、2月27日（土）じゃ。「南極老人星カノープス」についてお話するぞ！どんな星なんじゃろう？ぜひ参加しておくれ、待っておるぞ～。



Tel 23-2700 [msc08@cosmoland.jp]
http://cosmoland.miyabunkyo.com/
◀◀ Facebookでも情報発信中！>>



5月26日 「皆既月食」じゃ！！

○ 月食とは…？

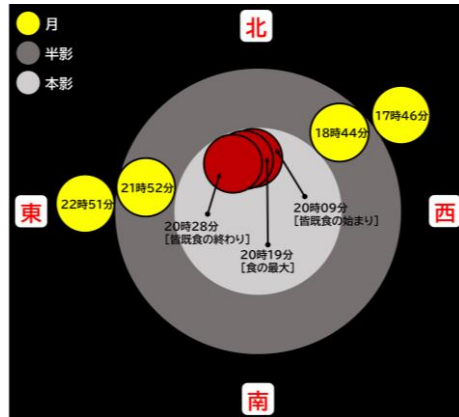
太陽-地球-月がこの順番にほぼ一直線となり、地球の影に月が入って暗くなる現象。今回は月が完全に地球の影に入り隠される“皆既月食”です。

○ 5月26日(水) 宵 肉眼でも観察が可能！

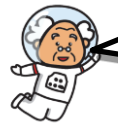
5月26日(水)の宵に全国で皆既月食が見られます。食が最大となるのは20時19分ごろです。皆既の継続時間は約14分です。この日、月はさそり座の頭部あたりに輝いています。皆既中は赤銅色に輝く、神秘的な月を見られそうです。ちなみに、この日は2021年最大の満月です。



皆既月食(赤銅色の月) ©国立天文台



当日の月食の進み方 ©国立天文台



8月13日 「ペルセウス座流星群」じゃ！！

○ 8月12日(木)～13日(金) 好条件で観察が可能！

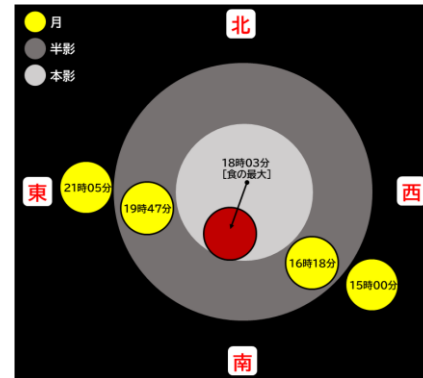
極大となるのは8月13日(金)午前4時ごろの予想です。つまり、極大に近い12日の日没～13日の早朝にかけて流れ星を多く観察できそうです。極大日の月齢は4で、放射点が昇るころには月が沈むので好条件で観察ができそうです。夏休みシーズンでもあるので家族でゆっくりと街灯かりを避けて観察に出かけるのもよさそうです！



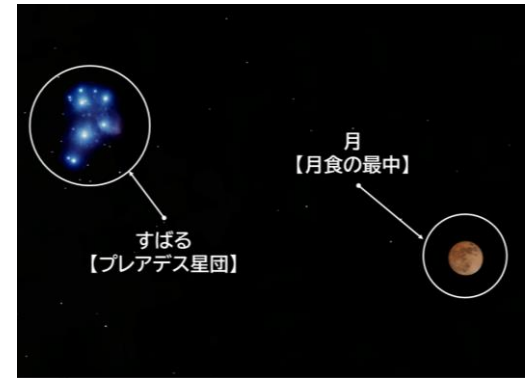
11月19日 皆既月食に近い「部分月食」じゃ！！

○ 11月19日(金) ほぼ「皆既月食」の月食 肉眼でも観察が可能！

11月19日(金)の宵に2021年2回目となる月食が見られます。19日夕方、東の空から満月が欠けながら昇ってきます。食の最大は18時3分ごろで、最大食分は0.97と、ほとんど皆既月食に近い状態です。月の近くには“プレアデス星団”が輝きます。低倍率の双眼鏡などでは赤銅色の月とプレアデス星団を同時に観察ができるかもしれません。



当日の月食の進み方 ©国立天文台



低倍率双眼鏡での見え方 ©StellaNavigator/AstroArts



12月3日 全国で「火星食」じゃ！！

○ 12月3日(金) 月に火星が隠される！

12月3日(金)の朝に火星食が起こり、細い月が火星を隠す様子が見られます。この時、火星の明るさは約1.6等と暗く、青空の中の火星を見るには望遠鏡が必要です。ただし、太陽に近いので、観察には十分な注意が必要です。潜入、出現の時間をしっかり押さえて、観察をしてみましょう。全国各地で見ることができますが、潜入、出現の時間は各場所で異なります。注意しましょう！

この他にも様々な天文現象、天文ショーが起こりそうです！みんなで空を見上げてみましょう♪



火星食の経過予想 ©StellaNavigator/AstroArts